

笠間で若手陶芸家の育成進む



図1 研究科前期展(陶芸美術館)



図2 2年生作品展(笠間工芸の丘)



図3 1年生ろくろ実習



図4 各種講座(公開講座Ⅱ)

【内容】

笠間陶芸大学校では、陶芸産地の担い手育成や産地窯元の課題解決力向上を図る目的で、授業・実習や専門研修などを実施しました。

1) 陶芸産地の新しい担い手育成

陶芸学科(1年生12名、2年生12名)・研究科(3名)に対し表1のカリキュラムのとおり授業・実習等を実施しました。

また成果の発表の場として、研究科前期展(図1)や2年生作品展(図2)を開催しました。

研究科前期展 : 9/10~15、来場者682名

2年生作品展 : 8/20~9/7、来場者2,200名

このほか令和8年1月30日~2月5日には、卒業制作展を陶芸美術館にて開催、3月12日~18日には当校で1年生成果制作展を開催しました。

表1 各学科の内容

学 科	カリキュラム(約200日1,400時間)
陶芸学科 1年生	基礎課題(土の特性を知り可能性を学ぶ) 造形課題(手びねり等による成型技術) ろくろ成型課題(図3:ろくろ成型技術) 石膏課題(石膏の成型、型作り、鑄込み) 意匠課題(デザイン、意匠、下絵、上絵) 釉薬調合(釉薬に関する基礎知識) 焼成実習(ガス・電気・薪窯による焼成) 各種講座(図4:技術・教養講座)
陶芸学科 2年生	造形課題(1年生で習得した技能を基に5つの課題に取り組む) 卒業制作(課題制作と自主制作) ポートフォリオ課題 (撮影技術、デザイン、プレゼンを学ぶ) 各種講座(同上)
研究科	前期課題(各自の制作テーマのもと制作技術と創造力を養う) 後期課題(卒業制作) インターンシップ(産地の工房等にて実地研修を行う起業に向けた準備) 各種講座(同上)

卒業後は県内窯元での就業または起業準備を予定しています。

2) 産地作陶家向け専門研修

産地作陶家の課題解決力向上、及び技術力向上を目的とした専門研修を実施しました(表 2)。令和7年度は、延べ8名に受講いただきました。(図 5)

表 2 専門研修の科目と内容

科目	内 容
成形技術	座学および実習を含む定型カリキュラムによる研修
釉薬技術	
石膏技術	
総 合	受講者の要望に応じたオーダーメイド型の研修



図 5 専門研修（左：釉薬技術 中：成型技術 右：総合研修）研修風景

【人材育成の成果】

当校を卒業した学生は、陶芸作家を目指し、地元を中心に独立自営や窯元就業する等、将来の笠間産地を担う人材として大いに期待されています。

専門研修においては、オリジナル釉薬の開発や、習得したロクロ技術による新たな製品開発等、それぞれ目標を持って研修に参加することで、技術力が向上し、産地製品の広がりにも寄与しています。

各種公募展における在校生・卒業生の受賞者一覧（令和7年）

- ・ 第 13 回陶美展 奨励賞 金森 絵美 (R05 研究科卒) (図 6)
- 入 選 宮本 果林 (H28 研究科卒) (図 7)
- ・ 令和 7 年度茨城県芸術祭美術展覧会 奨励賞 周 林 (R07 陶芸学科 2 年生) (図 8)



図 6 金森 絵美 作品



図 7 宮本 果林 作品



図 8 周 林 作品

担 当	笠間陶芸大学校	常世田 茂、佐藤 雅之、五味 謙二、 根本 達志、新島 佐知子 尾形 尚子、児玉 弘人、吉田 博和	TEL:0296-72-0316
	陶芸人材グループ		
	窯業材料グループ		